

(様式第4号)

上田市庁舎改修・改築検討委員会 会議概要

1 審議会名	上田市庁舎改修・改築検討委員会
2 日時	平成29年10月16日 午後4時15分から午後5時30分まで
3 会場	上田市役所南庁舎5階第3会議室
4 出席者	高木直樹会長、丸山正明副会長、伊藤英一委員、金井美奈子委員、沓掛由利子委員、小山陽三委員、藤川まゆみ委員、不破泰委員、宮本智夫委員
5 市側出席者	母袋市長、神代総務部長、清水庁舎整備担当参事、翠川都市建設部長、若林庁舎整備室長、田村建築課長、梅原建築担当係長、小林庁舎整備担当係長、宮原庁舎整備担当係長、渡辺行政改革担当係長、吾妻庁舎整備室主査、野田建築課主任、坂口庁舎整備室主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	2人 記者 3人
8 会議概要作成年月日	平成29年10月27日

協議事項等

1 開 会
2 報告事項
(1) 第13回検討委員会について
・資料に沿い、8月21日(月)に開催した第13回検討委員会の会議概要について若林庁舎整備室長から報告
3 検討及び協議事項
(1) 市民説明会・パブリックコメントの状況・結果について
・資料に沿い、若林庁舎整備室長から市民説明会・パブリックコメントの状況・結果について説明
・以下、協議
(委 員)・ランニングコスト7,000万円というのはどのようなものなのか。
(事務局)・内訳としては、光熱水費で年間2800万、ボイラー等の維持管理費、委託料関係の維持管理に関するもの、それに関わる職員の人件費も含めて、そのぐらいだということである。
(会 長)・説明会の時間帯は。
(事務局)・いずれも夜の7時から実施した。
(会 長)・(参加者が)少ないかなという感じはする。
(2) 上田市庁舎改修・改築基本計画について
・資料に沿い、若林庁舎整備室長から上田市庁舎改修・改築基本計画について説明
・以下、協議
(会 長)・基本計画の修正はまだ可能か。
(事務局)・まだ可能である。
(委 員)・18ページに、太陽光発電設備、地中熱利用、雨水利用などの自然エネルギーの有効活用とあるが、基本はこの3つを導入の検討のメインにするということでもいいか。ほかに検討すると想定しているものはないか。
(事務局)・他市の事例を見ると、いくつか採用しているものがあり、上田市としても検討はしなくてはいけないと思っている。
・雨水を溜めておいて、トイレの水等として使うということはあるかとは思いますが、それをエネルギー的に使うことが可能かどうかは、設計の中で詳細に検討する必要があるだろうと思う。

- ・地中熱も、それがコスト的にバランスをとれるかどうかということまで含めて、検討はする必要があるだろうと思うので、総合的に研究はしたい。
- ・自然光、自然の風といったものも有効だという話も聞いている。それが建物の構造の中で日影を作るといったのも一つの自然エネルギーかもしれない。そういったものも、当然、設計の中で考えていくことかと思っている。

(委員)・太陽熱は、すごく効率のいいエネルギー利用だが、場所が必要なので難しいかもしれない。

(事務局)・一つの候補にはなるかとは思う。

(会長)・基本設計や実施設計等の際に、そういうことについて設計者なりが前向きな提案をして、それが本当に有効であるならば、当然、決まったあとだったら採用、決まる前だったらその人たちは有利になるだろうということだと思ふ。

(事務局)・設計者の選定方法がプロポーザルということで、設計者から提案をしていただいて、いい提案のあったところが決まってくるということになるが、その求めている提案の中に、CO2の削減、省エネルギーといったテーマで提案してもらいたいということで予定しているので、設計者からこれ以外の提案があれば、そういうこともまた考えたいと思う。

(委員)・今回、いろいろなところで騒音という問題があまり出てこなかった。例えば、ボイラーだとか、あるいは、高層ビルの場合、いわゆる風の音をもものすごく気にするようで、騒音というものも、今後はもしかしたら気を付けなければいけない視点かと思う。

(会長)・音だけでなく、「ユニバーサルな対応をちゃんとやっていかないと」という話である。

- ・「一から造るのであれば、そういったことに対してより細かい見識を持って造っていただきたい」というようなことだと思ふ。

(委員)・私の専門は、防災、減災であったり、情報システム、セキュリティというところなので、中身を入れるときに、防災、減災という意味で「こういう風にした方がいいのではないか」といった助言をさせていただけるのではないかと思っている。

- ・情報システムに関しても、例えば、県 WAN との関係をもどのようにするか、その中で、業務をどう効率化していくか、クラウドの活用をどうするかということも含めて、中身を考えるときに、またいろいろと役に立てるのではないかと思っている。

- ・情報セキュリティという面でも、ネットワークの世界ではバリアは関係なく、変な穴が開いていけば、そこからマルウェアなどが入ってしまうわけで、そういう中身を入れるときのセキュリティというところでも、また助言をさせていただければと思っている。

(事務局)・防災システムは億単位でかかるので、どういったものが上田市として望ましいか、長野市のレベルまでは厳しいという感じがある。

(委員)・お金をかければいいというものでもないと思う。いざというときに使うものは毎日使っていなければ、いざという時に使えない。普段から子どもたちを見守るようなシステムというような中で、災害時にも高齢者や若者を守るというような考え方というのが、今、だいぶ出てきていると思う。その辺りもまた何かお手伝いできるかと思う。

(委員)・せっかく 60 億、70 億使って建てる市役所を、最大限にいろいろな意味で活かしていくことができるのではないかと感じた。

- ・エネルギーや CO2 削減の効果がかなり高い、上田市の中でもっとも先進的な建物になりそうな計画になったように感じている。それは、経済的にも、環境的にも貢献できる建物ができるという効果と、この地域のモデルになると思っている。

- ・できれば、市民の皆さんに、「どのくらいエネルギーを削減できた」、「CO2 はこれだけ減った」などというものを発表していただいて、市民が自分の家を建てる時などのモデルとして使えればと感じた。

- ・市民が活用できる、ただ住民票をとりにくるところだけでない、立ち寄りやすい市役所になればいいと思っている。

- ・太陽光発電であれば、市民出資型でおこなう手法もご検討いただければ、経費の削減にもつながると感じている。

(委員)・ひとつのコンセプトとして、7 日間のうち 5 日間だけ使われている市役所ではなく、7 日間

のうち、一部でも、7日間のうち7日間使えるようにと思う。

- ・また、膨大なスペースが余っていくという形ではなく、フレキシブルに使えるような設計をひとつのコンセプトとして考えていただけたらと思う。

(委員)・先ほどの音の面と風の面で、上田は西風がかなり強いようなので、市役所も6階建てくらいになると西風をもろに受けるので、西側の窓を二重にするとか、それから、少し窪みがあると、そこに西風がたまって音が出るということもある。この市役所近辺の独特の風など、わかることを調べてもらって、設計者に伝えていただければ、より良いものになるのではないかと思う。

- ・私も情報の関連をまたお手伝いしたいと思っている。

- ・パイプスペースは狭いより広い方が作業しやすいと思うので、パイプスペースの確保だけは、設計者に助言していただければありがたい。

(委員)・市役所というのは、無くてはならないもので、必ず一回は誰でも来ると思う。そのときに、いい思いをして帰っていただきたいという思いが強いので、働いている職員が仕事がしやすい市役所が必要かと思う。

- ・地元のものとか、先ほどの太陽光パネルとか、市民が何か一つ携われるということは、地元のいろいろな業者でできると思う。地元の人が携わった市役所だからこそ、地元に愛されるのだと思うので、難しい面もあると思うが、地元の方のための市役所の建設も必要かと思う。

(委員)・先週、上田千曲高校の生徒と長野大学の学生で、市民課と福祉の窓口でバリアフリーの調査をした。ここで生徒たちが気付いたのは、どの職員さんも笑顔でとても素晴らしかったということであった。職員が笑顔になるというのは、利用者の笑顔にもつながっていくというのが、そこで気になったので、職員が笑顔になるような環境が大切なのかなと思う。

(委員)・市民説明会の状況について、説明会に来る人が少なく、市民がそれだけ庁舎の改築には関心がないのか、それとも、この基本計画の案が立派にできているので来なかったかということもあると思う。

- ・この基本計画どおりにできれば、至れり尽くせりの庁舎になるのではないかと思っている。また、市民の皆さんも完成が待ち遠しく期待していると思っている。

- ・第三中学校のプレハブ校舎は、倉庫だけでなく仮庁舎としても十分使えるプレハブ校舎だと思うので、その辺の活用を考えていただければと思う。

(委員)・基本設計に入るときに、「これとこれだけは必ず入れてください」というものをしっかり打ち出して、市民サイドから見ても、担当者から見ても、市の職員、議員等から見ても首尾よくいけるという形になっていただければ一番ありがたい。

- ・これから特に、地方債の組み立て方なども大きな問題になってくるだろうし、市の借金の問題等も総合的に考えると、どこまでできるのかということも考えていかなければならない。最終的に金額をどの辺で落ち着かせるのかということが、大きな問題になってくるのではないかという感じがしている。

- ・「市役所は120日も休みがある」ということをよく念頭に置いて、市民サイドのことも頭に入れて、設計に移行していただければと思う。

(会長)・いくつかの市役所でこういう仕事をさせてもらったが、こんなに丁寧にやったところはない。それだけ、委員の皆さんも、市役所の方々も、丁寧にやっていこうというつもりがあったからこのようになっていくということに敬意を表すものである。

- ・ただ、私が一番気にしていたことは、ここで決まっていることがブラックボックスで決まっていて、地元の人たちには関係ないし、市民にしてみると、「できてみるとこんなものだったの」となるのは嫌だなということである。

- ・すべてを知ったり、理解するのはなかなか厳しく、すべてを説明するのはあまりにも大変なので、それはなかなかできないだろうが、これからもきちんと説明をしていって、いろいろ不満も残るだろうが、市民が「このぐらいのものができたから、まあよかったよね」ということを、スケジュールはなかなか大変だと思うが、今後も丁寧に、きちんと説明責任を果

たしながら進めていっていただくというのが、最終的に市民にとって納得感のある市役所になるのではないかと思うので、今ここでの様々な意見を市役所の中、また、設計者、施工者の方にもよく考えていただいて、いい建物ができたらいいなと思っている。

協議結果：○本委員会においては、基本計画の内容について案のとおり決定とする。

4 その他

市長あいさつ

5 閉会